

中学生のみなさんにすすめるブックリスト

	本の題名	書いた人	出版社	お 話 の 内 容
1	未来のおとなへ語る わたしが冒険について語るなら	三浦雄一郎	ポプラ社	だれもやったことがないこと、それが冒険。アドベンチャー・スキーヤーの第一人者であり、2003年に世界最高年齢エベレスト登頂記録(70歳7ヶ月)を樹立した三浦洋一郎が語る挑戦のすすめ。
2	ミライの授業	瀧本哲史	講談社	学校は、未来と希望の工場である―。そしてきみたちは魔法を学んでいる。世界を変えたニュートンの発見は、パンデミックで大学が閉鎖され、故郷で過ごした2年間でなされたものだった。ミライを考え、ミライを創るヒントがたくさん！
3	幸せの鍵が見つかる世界の美しいことば	前田まゆみ	創元社	ことばは時に無力なようにでいて、人生に深く影響するほどの不思議な力をもつこともあります。幸せの鍵を見つける手助けをしてくれる外国のことばたちに、美しいイラストと豊かな和訳をそえて、さりげなく届けてくれる、そんな一冊です。
4	武器より一冊の本をくださいー少女マラ・ユスフザイの祈りー	ヴィヴィアナ・マツァ／横山千里 訳	金の星社	「女性というだけで学校で勉強する機会を奪われたくない」と訴えた少女マラは、タリバンに銃撃された。
5	渋沢栄一伝	小前亮	小峰書店	日本の発展のため、いくつもの学校の設立と500にも及ぶ会社の設立に貢献した“日本資本主義の父”渋沢栄一。新一万円紙幣の肖像画に描かれることになった男の活躍を描く歴史青春ストーリー。
6	杉原千畝物語・命のビザをありがとう	杉原幸子・杉原弘樹	金の星社	第二次世界大戦が迫る中、ナチスの迫害を逃れてきた人たちに、愛と勇気を持ってビザを渡し続けた一外交官の物語。
7	世界がぐっと近くなるSDGsとボクらをつなぐ本	池上彰(監修)	学研	今、地球には77億人が暮らしています。ですが、地球はさまざまな問題や限界に直面しています。地球を、世界を、将来にわたって持続させるために、2030年までに達成すべき17個の目標について考えてみましょう。
8	なぜ僕は働くのか	池上彰(監修)	学研	「多様性」そんな言葉を最近よく耳にします。これからみなさんが生きていくのは、まさに多様な社会です。多様な社会には、それに併せて多様な生き方があります。この本を読んだあとには、今までより広い視野と多くの選択肢を得ることができているでしょう。
9	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ	新潮社	僕は日本人の母とアイルランド人の父をもつイギリス在住の中学生。なんで日本人の血が入っているだけでひどい言葉を言われるんだろ。なんで同じイギリス人なのに肌の色や貧富の差で差別されるんだろ。悩み、葛藤し、乗り越えていく等身大のノンフィクション。
10	すごい虫の見つけかた	海野和男／写真・文	草思社	昆虫写真の巨匠が、昆虫の視点で撮影した40点余りの写真に説明を加えた、躍動感あふれるオールカラーの写真集。
11	この世界の片隅に	こうの史代	双葉社	第二次世界大戦中の広島、一人の女性すずの実家や嫁ぎ先での生活が描かれ、「日々の暮らしの中に戦争があったのだ」と改めて感じさせられます。戦争が奪ったものは大きい、それでもけなげに生きていくすずの姿に私たちは力が湧いてきます。
12	鈴の鳴る道	星野富弘	偕成社	口にくわえた筆から、心にしみる詩と絵が生まれた。
13	しゃべる詩あそび詩きこえる詩	はせみつこ 編	富山房	思わず体が踊り出し、言葉が詩になっていく。不思議な魔法にかからぬようにご用心を。
14	おれたち戦国ロボサッカー部！	奈雅月ありす	ポプラ社	織田信長命の中学2年生ノブナガは、いやいや転校した三河の中学校で、ロボットサッカー部に入部することに…。
15	わたしの美しい庭	風良ゆう	ポプラ社	「ぼくと百音の関係はぼくと百音が作り上げるものなんだから、他の人があれこれ言うことに意味はない。」恋人の死、うつ、周囲の偏見。誰もがたくさんのことを抱えながら生きている。時にはうずくまることもあっても、自分なりの答えを出して生きていこう。
16	かがみの孤城	辻村深月	ポプラ社	部屋に閉じこもっていた主人公の目の前で、ある日突然、鏡が光り輝きます。輝く鏡をくぐった先には、「オオカミさま」と主人公と似た境遇の7人の「赤ずきんちゃん」が集められていた。不思議な城で、願いを叶えるために鍵を探す―。
17	光のうつしえ	朽木祥	講談社	知っているようで知らない「あの日」。ヒロシマは、何を奪い、何を残したのか。灯籠が映す、様々な思い。
18	夕暮れのマグノリア	安東みきえ	講談社	夕暮れのほんのいつとき現れる不思議な出来事に出合うたび、灯子は一つずつ大切なものに気づいていく。
19	夜のピクニック	恩田陸	新潮社	全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事「歩行祭」。貴子は小さな賭をすることにした。
20	一瞬の風になれ1～3	佐藤多佳子	講談社	春野台高校の陸上部を舞台にした青春小説。真二と蓮の二人がひたすら走りながら、成長していく。
21	空色勾玉	荻原規子	徳間書店	神々がまだ地上を歩いていた古代日本を舞台としたファンタジー。「勾玉」シリーズ3部作の第1弾。
22	ぼくのお姉さん	丘修三	偕成社	生きているって楽しいこと。でも、人にはいろいろな苦しみや悲しみがあるもの。他人の苦しみや悲しみ分かる人間になれる一冊。
23	「自分の木」の下で	大江健三郎	朝日新聞社	ノーベル賞作家が若い読者のために書いた人生論。「なぜ学校へいくのか」「どうして生きてきたのか」を自分の体験からわかりやすく語る。
24	父の詫び状	向田邦子	文藝春秋	怒りっぽくてわがままな父親の本当の素顔に触れてみよう。
25	なによりも大切なこと 心の友だち	あさのあつこ	PHP研究所	10代の揺れる思い、強い気持ち、ドキドキする言葉が書かれたあさのあつこさんのエッセイ。10代の揺れる心を包むおまじりのような本。
26	穴 HOLES	ルイス・サッカー／幸田敦子 訳	講談社	無実の罪で矯正キャンプに放りこまれたスタンリー。友情とプライドをかけ、穴の向こうへ踏み出した。
27	ペーパーボーイ	ヴィンス・ヴォーター／原田勝彦 訳	岩波書店	吃音症に悩む「ぼく」は、夏休みの間、友だちに代わり新聞配達をすることに。すてきな人たちとの出会い、思いもよらない事件との遭遇。少年のひと夏の成長を描いたさわやかな物語です。
28	リバウンド	E. ウォルターズ／小梨直訳	福音館書店	ショーンと車いすに乗った転校生デーヴィッド。バスケットボールが好きな二人が乗り越えるものとは……。
29	どろぼうの神さま	コルネリア・フンケ／細井直子 訳	WAVE出版	大人なんかに頼らずに生きていきたい。そんな願いを叶えてくれる「どろぼうの神様」と子どもたちの物語。
30	木を植えた男	ジャン・ジアノ／寺岡襄 訳	あすなろ書房	自分の利益を考えず、ひたすらたった一人で森をよみがえらせたブルフィエの半生。
31	イクバルの闘いー世界一勇気ある少年	フランチェスコ・ダダモ／荒瀬ゆみこ 訳	すずき出版	知っていますか？ 今も、じゅうたん工場で、朝から晩まで奴隷のように働かされる子どもたちのことを。